

作業計画書の作成方法
～車両系建設機械＋移動式クレーン～

 **OKUMURA CORPORATION**

2024年11月改訂版

この動画では、車両系建設機械と移動式クレーンの作業計画書の作成方法を説明いたします。

【作業計画書の様式について】

移動式クレーンや車両系建設機械使用時に作成する作業計画書は、
以下の赤文字の様式から選択し作成してください。

作業計画書の様式	作成用途
移動式クレーン+車両系建設機械	※移動式クレーンに加え、車両系建設機械を使用する場合
移動式クレーン	※移動式クレーンのみを使用する場合
移動式クレーン+高所作業車	※移動式クレーンに加え、高所作業車を使用する場合
車両系建設機械+車両系荷役運搬機械	※車両系建設機械のみの使用や、車両系荷役運搬機械を加えて使用する場合
クレーン機能付きバックホウ+車両系荷役運搬機械	
クレーン機能付きバックホウ+高所作業車	
高所作業車	
クレーン機能付きバックホウ	
コンクリートポンプ車	
ロープ作業	

 OKUMURA CORPORATION

当社の作業計画書の様式は、現在、10種類に分かれています。このうち、移動式クレーンや車両系建設機械に関係する様式は4種類です。併用する機械の有無に応じて選択し、作業計画書を作成してください。

②

① 計画書

「車両系建設機械」 「移動式クレーン」

① 設備機・・・整備・運搬・積込用、運用用、基礎工事用、荷運用、解体用
 ② 安全装置整備機・・・「バックホウ機」 「ドレッジ機」 「振動用機械」

作業名称	機台		年月日		
	機台名	機台のサイン	年	月	日
一級吊り上げ 作業及び吊り上げ 作業等 作業等 作業等 及び方法	安全装置責任者 安全装置責任者	機台のサイン			

③

② 計画指導事項

提出された作業計画書について、次のように指導します。計画内容や関係作業員に周知した後、作業を行ってください。

① 作業の準備状況、実施及び作業の状況、作業量、使用する機械の種類、能力等を確認して作業方法を決定する。
 ② 機械、組立及びその材料の搬入状況を確認し、予定定位置に、機械の保持等の措置をとる。
 ③ 機械の能力を必ず確認し、指導を要する。

作業員	担当	承認日	年	月	日
1. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
2. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
3. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
4. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
5. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
6. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
7. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
8. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
9. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
10. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
11. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
12. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
13. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
14. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
15. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
16. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
17. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
18. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
19. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
20. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
21. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
22. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
23. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
24. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
25. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
26. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
27. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
28. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
29. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
30. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
31. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
32. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
33. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
34. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
35. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
36. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
37. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
38. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
39. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
40. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
41. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
42. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
43. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
44. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
45. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
46. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
47. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
48. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
49. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
50. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
51. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
52. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
53. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
54. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
55. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
56. 作業員(施工現場等)の	作業員	承認	承認	承認	承認
57. 作業員(施工現場等)					

①左ページの必要事項の記入と作業計画図の作成（協力会社）

③右ページの工事所の計画指導事項を確認の上、受領（協力会社）

④コピーして、関係者に周知・サインの上、保管（協力会社）

- ・作業計画書記入用紙(紙、Excelデータ等)
- ・使用重機の性能が分かる資料(カタログ等)
- ・作業場所の状況が分かる平面図(縮尺は1:100を基本)

※奥村組H P(協力会社の皆様へ)⇒安全に関するお知らせ
⇒【安全書類】からダウンロード可能

【作業計画書の作成が必要な重機について】

作業計画書

✓ 車両系建設機械 ✓ 移動式クレーン

車両系建設機械... 整地・運搬・掘削用 基礎工事用 締固め 解体用

接触防止安全装置搭載機: ✓ パワーショベル ✓ ドラグショベル ✓ 解体用機械




接触防止の安全装置とは

『危険範囲への侵入を検知するセンサー』と

『検知後に作動する装置※』が一体となったものです。

※音や光で警報を発する装置や自動的に停止する装置のこと

バックモニターのみでは不十分

OKUMURA CORPORATION

作業計画書の作成が必要な車両系建設機械と移動式クレーンの一覧です。

使用する重機にチェックを記入してください。

このうち、赤点線枠で囲まれた重機は、接触防止のための安全装置の取り付けが必要な重機となっていますので、必ず確認してください。

【作業名称等について】

作業計画書 ☒ 車両系建設機械 ☒ 移動式クレーン

車両系建設機械・・・整地・運搬・積み用、掘削用、基礎工事用、締固め用、解体用

接触防止安全装置搭載機: ☒ パワーショベル ☐ ドラグショベル ☐ 解体用機械

作業名称	掘削・床付～均しCON打設作業			提出日	2024年4月18日
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎	印又はサイン	承認計画書受領日
③次協力会社	小川建設 株式会社	安全衛生責任者	村山 美		元請け承認後に記入
作業年月日	2024年4月22日～2024年5月21日				
作業内容及び方法	掘削・床付および残土積み込み作業 均しCON打設作業				

同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。

作業名称等について記入する部分です。

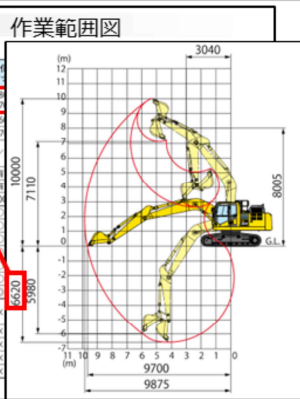
項目に従って記入してください。

作業年月日の項目欄ですが、同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。

承認計画書受領日は、元請け承認後に記入してください。

掘削用

機械の仕様に無い項目は、
横線や斜線を記入してください

[illegible][illegible][illegible]

OKUMURA CORPORATION

機械の仕様に無い項目は、横線や斜線を記入してください。

【車両系建設機械について】 (記入例) 掘削・床付および残土積み込み作業の場合

掘削用	機種:	PC200	型式(規格):	コマツPC257	性能(能力):	0.8m ³
	ブーム長:	—	m	リーダー長:	—	m
	掘削最大深さ(高さ): 6.62 m					
	☒ 緊急停止機能 ☐ 警報・警告(音、光、回転灯等)【重機のみに取付ける型式】 ☐ 緊急停止機能 ☐ 警報・警告(音、光、回転灯等)【重機と作業員等に取付ける型式】 ☐ 未搭載 ☐ 装置解除 ☐ モニター(カメラ)だけの場合、 理由()					
	作業員の配置及び指揮系統					
	会社名	氏名	資格要件	資格		
	作業指揮者	小川建設	村山 実	機体重量3t以上	技能講習	
	オペレータ	//	広島 三郎			
	誘導者	//	木部 翔太			
	合図者	//	太田 直樹			
	作業員	//	佐藤 葵			
					機械転倒防止措置	☐ 補強土留 ☐ 敷鉄板敷設 ☐ 地盤改良 ☐ 幅員確保 ☒ 誘導者配置 ☐ その他

接触防止安全装置は必須です。
 万が一、安全装置が未搭載や
 モニターだけの場合は理由を記入し
 元請けに確認してください

【作業指揮者の選任が必要な作業内容】

- ・車両系建設機械の修理又はアタッチメントの装着及び取外しの作業
 - ・車両系荷役運搬機械を用いる作業
 - ・車両系荷役運搬機械等の修理又はアタッチメントの装着もしくは取外しの作業
 - ・一つの荷でその重量が100キログラム以上のものを不整地運搬車に積む作業又は降ろす作業
 - ・くい打機・くい抜機・又はボーリングマシンの組立て・解体・変更又は移動の作業
- ※単独でフォークリフト作業を行う場合や、それ以外の作業については選任不要

接触防止のための安全装置は必須です。

作業指揮者の選任が必要な作業内容は記載の通りですので、該当する作業は、必ず選任してください。

【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25
t
ラ
フ
ター
ク
レー
ン

作業方法	吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57 t ブーム m ジブ m オフセット m				
	作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: m 実作業時の作業半径: m				
	アウトリガー張出: (前方) m (後方) m				
作業内容	吊具等: ・玉掛けリヤー ・ベルトスリング ・ワイヤーモック ・チェーン ・クランプ ・シャックル ・磁石				
	・その他 (介錯ロープ)				
	性能表等を参照→ カタログ等参照→ 生CON1m³につき2.3 t なので0.5m³なら1.15t→ フック重量 0.22 t 吊具荷重 0.2 t 吊荷荷重 1.15 t 作業時最大荷重(計) 1.57 t				
作業員の 配置及び 指揮系統	実作業時の定格総 荷重 t × 90% = t ≥				☐ 笛 ☐ 自動アナウンス ☐ 警報器 ☐ ブザー ☐ その他 ()
	会社名	氏 名	資格要件	資 格	
	作業指揮者			事業者による 指名・選任済	
	クレーン運転者				
	玉 掛 者				
	玉 掛 者				
合 図 者					

【吊り具】

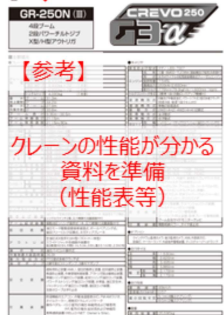
コンクリートバケット



機体コード	HC2 03020	HC2 03060	HC2 05000	HC2 10000
代表機体番号	001222	00543	00542	00641
容積(容量) (m³)	0.3	0.6	0.5	1.0
最大吊口 (mm)	130×320	450×370	450×390	500×400
ドラム径 (mm)	880	1,100	1,100	1,200
全高H (mm)	1,350	1,430	1,430	1,900
質量 (kg)	75	115	190	320

【参考】

クレーンの性能が分かる
資料を準備
(性能表等)



OKUMURA CORPORATION

移動式クレーンについて記入する部分です。
均しコンクリート打設作業の記入例です。
使用するクレーンや吊り具のカタログ等を参照しながら、項目に従って記入してください。
作業時最大荷重は、フック重量、吊具荷重、吊荷荷重の合計荷重になります。

【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25 t ラフター クレーン	作業方法	吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57 t ブーム30.5m ジブ m オフセット m			
	作業内容	作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: 22.0 m 実作業時の作業半径: 15.0 m			
		アウトリガー張出: 性能表等を参照 → 6.5 m (後方) 6.5 m			
		吊具等: 玉掛けリヤー ベルトスリング リヤーモック チェーン クランプ シャックル 磁石			
	作業員の 配置及び 指揮系統	(その他) 介錯ロープ コンクリートバケット			
均しCON打設					
フック重量 0.22 t					
吊具荷重 0.2 t					
吊荷荷重 1.15 t					
実作業時の定格総荷重 3.8 t		3.8t × 0.9(90%) = 3.42 t ≥ OK		作業時最大荷重(計) 1.57 t	
会社名	氏名	資格要件	資格	人払い方法	
作業指揮者				☐ 笛	
クレーン運転者				☐ 自動アナウンス	
玉掛け者				☐ 警報器	
玉掛け者				☐ ブザー	
合図者				☐ その他	

アウトリガ最大張出(6.5m)	全周
30.5m	30.5m
2.5m	25.0 15.0 12.5
3.0m	25.0 15.0 12.5
3.5m	25.0 15.0 12.5
4.0m	23.5 15.0 12.5
4.5m	21.5 15.0 12.5
5.0m	19.6 15.0 12.5
5.5m	17.8 15.0 12.5
6.0m	16.3 15.0 12.4
6.5m	15.1 15.0 11.7
7.0m	14.0 14.0 11.0
8.0m	11.3 9.8 8.0
9.0m	9.2 8.8 7.6
10.0m	7.5 7.6 6.9
11.0m	6.3 6.6 6.3
12.0m	5.35 5.6 5.6
13.0m	4.6 4.85 4.9
13.5m	4.25 4.5 4.6
14.0m	4.05 4.3 4.3
15.0m	3.7 3.8 3.8
16.0m	3.25 3.5 3.5
17.0m	2.9 3.0 3.0
18.0m	2.55 2.65 2.65
19.0m	2.3 2.4 2.4
20.0m	2.05 2.15 2.15
20.5m	1.95 2.0 2.0
21.0m	1.9 1.9 1.9
22.0m	1.7 1.7 1.7
	1.35 1.35 1.35
	1.1 1.1 1.1
	0.9 0.9 0.9

クレーン能力最大半径は、先ほど求めた作業時最大荷重である1.57トン以上の能力の最大半径としてください。

今回の場合、1.7トンが吊れる作業半径である22メートルがクレーン能力最大半径となります。

実作業時の作業半径は、現地や作業計画図等で確認したうえで、計画している作業半径を記入してください。

アウトリガーは原則、最大張り出しとしてください。張り出し長さはカタログ等を参照してください。

実作業時の定格総荷重は、実作業時の作業半径15メートルでの定格総荷重である3.8トンとしてください。

この荷重に安全率90%を見込むと、3.42トンとなります。

この3.42トンが作業時最大荷重である1.57トンを下回らないように計画してください。

【移動式クレーンについて】 (記入例) 均しCON打設作業の場合

25 t ラフター クレーン	作業方法	吊荷の種類、形状: 生CON 作業時最大荷重: 1.57 t ブーム30.5m ジブ m オフセット m 作業時最大荷重に対するクレーン能力最大半径: 22.0 m 実作業時の作業半径: 15.0 m アウトリガー張出: (前方) 6.5 m、(後方) 6.5 m 吊具等: ・玉掛けリヤヤー ・ベルトスリング ・リヤヤーモック ・チェーン ・クランプ ・シャックル ・磁石 (その他) 介錯ロープ コンクリートバケット			
	作業内容	均しCON打設 フック重量 0.22 t 吊具荷重 0.2 t 吊荷重量 1.15 t 作業時最大荷重(計) 1.57 t			
	作業員の配置及び指揮系統	実作業時の定格総荷重 3.8 t × 90% = 3.42 t ≥ OK			
		会社名	氏名	資格要件	資格
	作業指揮者	小川建設	村山 実		
クレーン運転者	山野工業	栗本 操次郎	5t以上	免許	
玉掛け者	小川建設	宮下 隆	1t以上	技能講習	
玉掛け者	//	亀岡 直哉	1t以上	技能講習	
合図者	//	福富 一平			

玉掛け作業に必要な資格区分

吊り上げ荷重による区分	必要資格
1t以上	【技能講習】玉掛け
1t未満	【特別教育】玉掛け

クレーン運転者に必要な資格区分

吊り上げ荷重による区分	必要資格
5t以上	【免許】移動式クレーン運転士
1t以上～5t未満	【技能講習】移動式クレーン運転士
1t未満	【特別教育】移動式クレーン運転士

クレーンの運転や玉掛け作業には資格が必要です。吊り上げ荷重による区分により、必要な資格が異なるので注意してください。玉掛け者と合図者の兼任は可能です。

【作業計画図には次のことを図示してください】

架空線 埋設物位置 等



作業計画図には、作業場所、機械設置位置、作業半径、立入禁止区画、安全通路、誘導者等配置位置、運行経路、地盤の状態、架空線、埋設物位置、等を記入してください。

玉掛者：Ⓢ 監視人：Ⓢ

監視人：監

安全通路： ← —┐
 └─女主通路→

立入禁止区画： 

作業半径
15.0m

-10tポンプ車

10t生コン車

90tクローラクレーン

残土

0.7BH—

10tダンプ車

高所作業車

作業半径は作業計画図の縮尺に合わせて記入してください。縮尺が1/100の場合、1メートルが1センチメートルの長さになります。

【元請けからの計画指導について】

工事名	天王寺庁舎建設工事		
工事所長	山田	担当	芝 介
承認日	2024 年 4 月 20 日		

計画指導事項
提出された作業計画について、次のように指導します。計画内容を関係作業員に周知した後、作業を行ってください。

作業中に作業場所の広さ、距離及び作業の経路、目の位置、歩行する機械の種類、動力等を考慮して作業方法を決定する。
制動、制動停止のための安全確保の措置を講ずる。歩行する機械の種類、動力等を考慮して作業方法を決定する。
制動、制動停止のための安全確保の措置を講ずる。歩行する機械の種類、動力等を考慮して作業方法を決定する。

作業員	1) 運転者(地上・地下・水中)	2) 運転者(地上・地下・水中)	3) 運転者(地上・地下・水中)	4) 運転者(地上・地下・水中)	5) 運転者(地上・地下・水中)	6) 運転者(地上・地下・水中)	7) 運転者(地上・地下・水中)	8) 運転者(地上・地下・水中)	9) 運転者(地上・地下・水中)	10) 運転者(地上・地下・水中)
	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要

作業指導事項

- 作業中は運転者以外に立ち入らない。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。

作業時間指導事項

- 作業中は運転者以外に立ち入らない。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。
- 運転中の機械に近づく場合は、立ち止まり、運転者に声をかける。

①左ページの記入が完了したら
工事所に提出してください

作成完了

別紙参照

②工事所が指導事項等を記入し
審査・承認します

③承認後、作業計画書を返却しますので、
内容を確認し、受領日と安全衛生責任者がサインをしてください

作業計画書

車両系建設機械 車両系建設機械 車両系建設機械

接触防止安全装置搭載機: ☐ パワーショベル ☒ ドラグショベル ☐ 解体用機械

作業名称	掘削・床付～均しCON打設作業	提出日	2024 年 4 月 18 日
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎 鈴木 4 / 21
二次協力会社	小川建設 株式会社	安全衛生責任者	村山 実 村山 4 / 21
作業年月日	2024 年 4 月 22 日	承認計画書受領日	2024 年 5 月 21 日
作業内容及び方法	掘削・床付および残土積み込み作業 均しCON打設作業		

OKUMURA CORPORATION

左ページの記入と作業計画図の作成が完了したら、

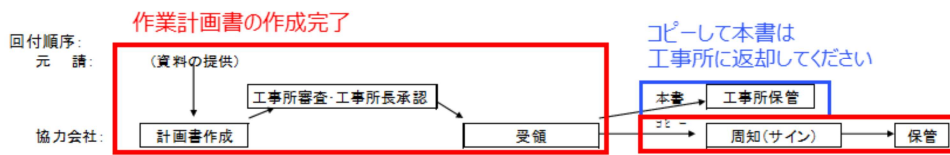
①作業計画書を工事所に提出してください

②工事所が計画に対する作業条件や指導事項を記入、審査、承認します

③工事所から作業計画書が戻ってきたら、左ページ上部の欄に受領日を記入し、提出時に記入した安全衛生責任者の右横に押印またはサインしてください。

これで、作業計画書の作成は完了となります。

【関係作業員への周知について】



コピーした作業計画書の内容を関係作業員に周知し、周知日と周知者を記録して保管してください。



周知日	4/21	4/26	4/28	
周知者 (サイン)	鈴勝 福亀 宮栗 佐太 木広 村宮 富岡 下本 藤田 部島	久高 森 保木 下	木山 穂 村崎 藤	

計画内容を関係作業員に必ず周知してから作業を行ってください

作業員が交代した際も、必ず計画内容の周知を行い、記録を残してください

OKUMURA CORPORATION

作成完了後、作業計画書をコピーしてください。本書は工事所に返却してください。

コピーした作業計画書の内容、右ページの指導事項等を確認して、作業を開始するまでに、必ず関係者に周知してください。

周知が完了したら、右ページ下の欄に周知日を記入し、周知対象者に必ずサインをもらうようにしてください。

作業員の方が交代した場合も、作業計画書の内容を都度周知し、周知した記録を残してください。



以上で説明を終わります。